

## ◎ウラリット配合錠・OU 配合散 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】クエン酸カリウム, クエン酸ナトリウム Potassium Citrate/Sodium Citrate 【分類】アシドーシス・酸性尿改善剤

【単位】◎錠, ○1g/包 [U 散]

【常用量】■痛風, 高尿酸血症における酸性尿: 6錠/日 ■アシドーシスの改善: 12錠/日 [2T=1g]

【用法】分3~4

【透析患者への投与方法】高K血症になりやすいため慎重投与 (5) 1錠中K 2.25mEq (89mg) 含有されており, 6錠で13.5mEq (534mg) の負荷となる (1)

【保存期CKD患者への投与方法】腎機能障害患者では一般的に高K血症になりやすいため慎重投与 (1) 1錠中K 2.25mEq (89mg) 含有されており, 6錠で13.5mEq (534mg) の負荷となる [Na+ も 2.25mEq/錠] (1)

【特徴】酸性尿を改善し, 尿中尿酸の溶解性を高め (酸性になると尿酸の尿路への析出沈着が起こる), 尿酸結石生成を抑制する。クエン酸によるCa結石の再発予防にも適用される。

代謝されて重碳酸イオンとなり, アシドーシスにおける血液ガスのコントロールに適用されることもあるが, カリウム負荷に注意。

【主な副作用・毒性】高K血症, 肝障害, 腎障害, 消化器症状, 発疹, 掻痒感, 頻尿, 残尿感, 貧血, 全身倦怠感など

【安全性に関する情報】クエン酸がアルミニウムをキレートし, アルミニウムの吸収が亢進する可能性 (1)

【モニターすべき項目】血清pH, CO<sub>2</sub>, NaHCO<sub>3</sub>を含む酸塩基平衡, CBCs (Ht, Hb含む), 血清Na, P, Cl, 24時間尿中クエン酸濃度, ECG

【代謝】体内で酸化され重碳酸K, 重碳酸Naになる (U)

【排泄】尿中に排泄され, 尿中未変化体排泄率は5%以下 (U)

【MW】324.41 (K), 294.10 (Na)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【相互作用】尿アルカリ化による影響を考慮 (5) アルミニウムの吸収を亢進させる可能性がありアルミニウム製剤との併用注意 (1)

【効果発現時間】単回投与で1hr以内

【効果持続時間】単回投与で12hrまで, 連続投与で3日間

【備考】リン酸カルシウム結石時には使用しない。尿酸のpKa 5.7であり, アルカリ側で解離型尿酸が優位となる。尿酸の溶解度はpH 5.0において15mg/dL, pH 7.0において200mg/dLである

【更新日】20240926

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。